

変革の世代 核兵器廃絶のための青年の誓い

核兵器は過ぎ去った時代の象徴であり、私たちの目の前の現実には大きな脅威をもたらしている。しかし、私たちが創造している未来に、その居場所はない。

広島・長崎への原爆投下から七十年。核兵器の存在は今もなお、地球上のすべての人にむごたらしい死の脅威を突きつけている。この七十年間、「二度と繰り返さない」という演説が行われ、声明が発表・支持されてきた。それでも私たちは、いまだに核兵器の人質にとられたままでいる。私たち世界中の青年は、これら数十年に及ぶ核廃絶の約束を果たすべく、立ち上がろうと勇気を奮い起こしている。私たちは、共通の未来への脅威を根絶しなくてはならない。あなたも、私たち「変革の世代」に加わってほしい。

さあ、行動を起こす時だ。

私たち青年は、人間の安全保障と持続可能性を求め、核兵器が存在したまま、これを完全に実現するのは不可能だ。青年の目には、核兵器のない世界への可能性が見える。私たちの目には、恐怖と軍拡ではなく、外交・協力・信頼にもとづく安全保障への可能性が見えるのだ。核兵器の廃絶は私たちの責務であり、権利だ。核廃絶のチャンスが失われるのを、もはや黙って見過ごしはしない。私たち青年は、あらゆる多様性と深い団結のもと、この目標の実現を誓う。私たちは「変革の世代」なのだ。

核兵器が存在し続けることは受け入れられない。私たちの共通の未来を守るために、行動を起こさねばならない。ゆえに「変革の世代」として、私たちは以下を誓う。

- 仲間の意識を広く啓発するために、自らが知識を学び、自信をつける。
- 活動する上で多様性が重要であることを自覚し、ジェンダーの視点が軍縮に影響を与えることを自ら学んでゆく。
- 各自の地域社会や国で行動を起こし、声をあげ、核廃絶を求める。
- 核兵器の非人道性や、被爆者・核実験被害者の体験を周囲と共有する。
- 核廃絶運動への参加を周囲に促し、活動する全員の一致団結を築く。
- すべての国家に、核兵器を禁止・廃絶する国際条約の交渉開始を呼びかける。
- 各自の国の議会に、核兵器の製造・投資・実験・配備・威嚇・使用を禁止および違法化する国内法制の整備を呼びかける。

あなたも、私たち「変革の世代」と共に声をあげ、行動を呼びかけよう。私たちは、核兵器が私たちの生命を、未来の世代を脅かし続けているのに、何もせずにいることを拒否する。さあ、私たちと一緒に行動して、変革を起こそう！